

平成27年3月期決算の概要①【損益の状況】

1. 足利ホールディングス連結

◇連結粗利益は828億円(前年比+5億円)となりました。営業経費は566億円(同比▲9億円)に減少したほか、与信関係費用も59億円に減少(同比▲19億円)しました。
 ◇経常利益(210億円)、当期純利益(170億円)とも業績予想のおりとなりました。なお、それぞれ前年比▲72億円となっておりますが、株式等損益の減少(同比▲115億円)によるものであります。

(単位:億円)

	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 実績	26/3期比	業績 予想
連結粗利益	822	823	828	▲5	
営業経費(▲)	581	575	566	▲9	
与信関係費用(▲)	56	78	59	▲19	
株式等損益	▲12	111	▲4	▲115	
経常利益	186	282	210	▲72	【210】
法人税等合計(▲)	29	36	39	3	
当期純利益	154	243	170	▲72	【170】

2. 足利銀行単体

◇業務粗利益は、前年比+6億円の805億円となりました。国債等債券損益は減少(同比▲8億円)しましたが、資金利益(同比+12億円)と役務取引等利益(同比+2億円)が増加し、国債等債券損益を除いたコア業務粗利益は801億円(同比+15億円)に増加となりました。
 ◇経費が480億円(同比▲9億円)に減少し、コア業務純益は320億円(同比+24億円)となりました。
 ◇与信関係費用が26億円(同比▲47億円)に減少したこともあり、経常利益は297億円、当期純利益は197億円と、それぞれ業績予想を上回りました。なお、当期純利益の減少(同比▲123億円)は、株式等損益の減少(同比▲127億円)や、税金費用の増加(同比+71億円)によるものです。

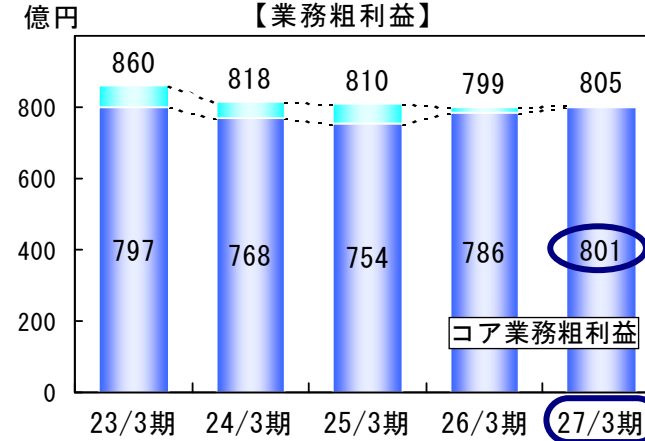
(単位:億円)

	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 実績	26/3期比	業績 予想
業務粗利益	810	799	805	▲6	
(コア業務粗利益)	754	786	801	▲15	【788】
資金利益	627	638	650	▲12	
役務取引等利益	121	143	145	▲2	
その他業務利益	61	17	9	▲8	
国債等債券損益	56	13	4	▲8	
経費(▲)	497	489	480	▲9	【479】
人件費(▲)	272	266	260	▲6	
物件費(▲)	202	201	196	▲4	
実質業務純益	313	310	325	▲15	
コア業務純益	257	296	320	▲24	【308】
一般貸倒引当金繰入額(▲) ①	(+)▲87	36	(+)▲22	(+)▲59	
業務純益	400	273	348	▲75	
臨時損益	▲131	81	▲50	▲131	
不良債権処理額(▲) ②	145	53	56	▲3	
償却債権取立益・貸倒引当金戻入益 ③	13	16	7	▲9	
株式等損益	▲7	123	▲4	▲127	
経常利益	268	354	297	▲56	【279】
法人税等合計(▲)	20	28	99	▲71	
当期純利益	246	321	197	▲123	【196】
与信関係費用(注)(▲)	45	74	26	▲47	

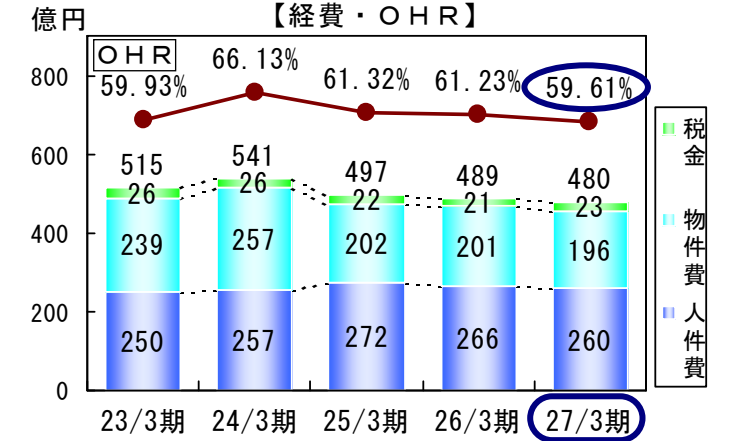
(注) 与信関係費用=①+②-③

3. 主な計数の推移(銀行単体)

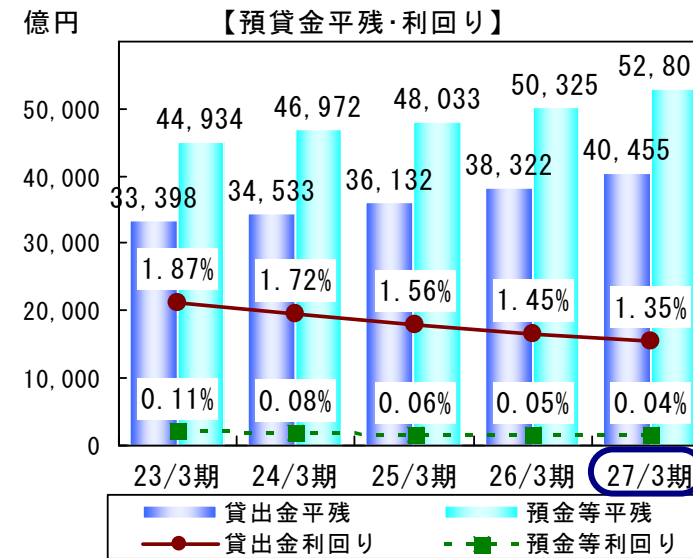
億円



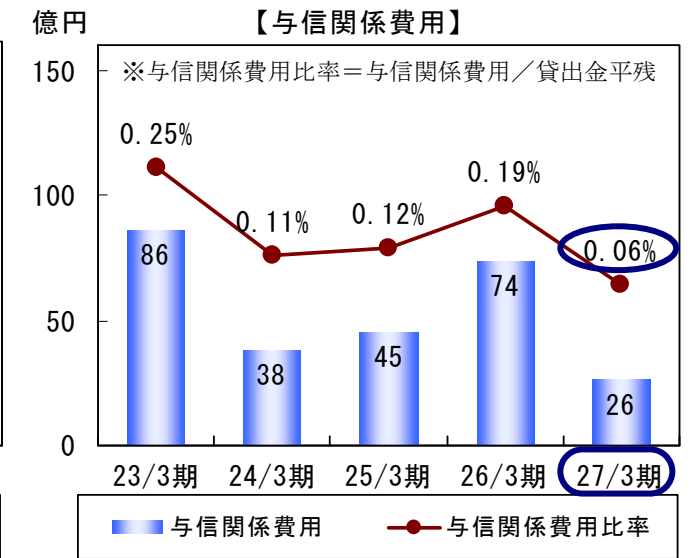
億円



億円



億円



4. 業績予想

【足利ホールディングス連結】

(単位:億円)

	26/9期 実績	27/9期 予想	前年同期比	27/3期 実績	28/3期 予想	前年度比
経常収益	493	480	▲13	967	950	▲17
経常利益	125	125	0	210	235	▲25
当期(中間)純利益	77	70	▲7	170	170	0

【足利銀行単体】

(単位:億円)

	26/9期 実績	27/9期 予想	前年同期比	27/3期 実績	28/3期 予想	前年度比
コア業務粗利益	404	405	▲1	801	795	▲6
経費	244	240	▲4	480	470	▲10
コア業務純益	160	165	▲5	320	325	▲5
経常利益	156	160	▲4	297	305	▲8
当期(中間)純利益	113	105	▲8	197	235	▲38

平成27年3月期決算の概要②【主要勘定（銀行単体）】

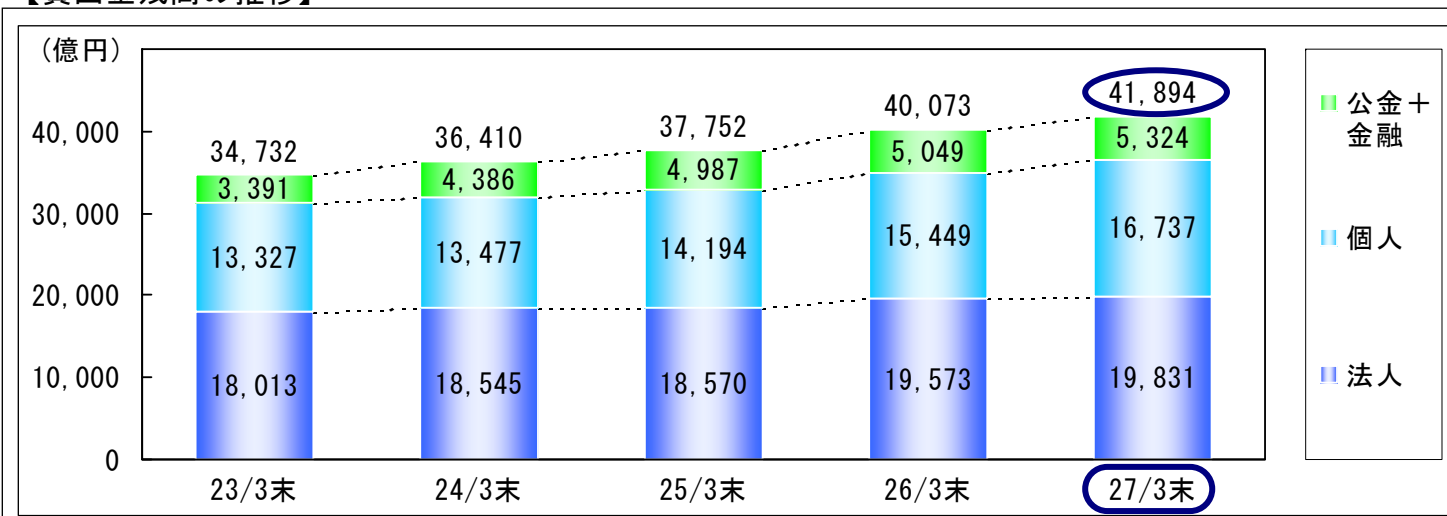
1. 貸出金

- 貸出金残高はH26/3末比+1,821億円の4兆1,894億円(年増率4.5%)となりました。住宅ローンを中心に個人貸出が同比+1,288億円の1兆6,737億円(年増率8.3%)に増加したほか、法人貸出についても同比+257億円の1兆9,831億円(年増率1.3%)に増加いたしました。中小企業等貸出残高(個人+中小企業)は、同比+1,853億円の3兆368億円(年増率6.4%)となりました。
- 住宅ローンは、残高が1兆5,469億円(同比+1,218億円、年増率8.5%)、件数が96,186件(同比+4,792件)に、それぞれ増加いたしました。

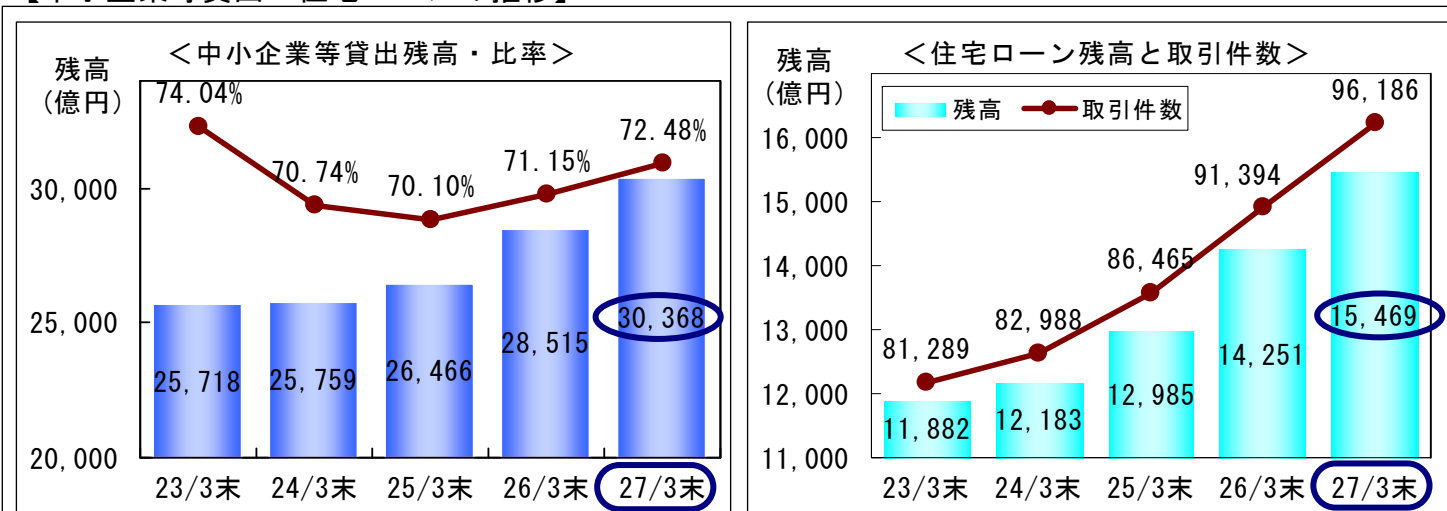
(単位：億円)

	25/3末	26/3末	27/3末	26/3末比	(年増率)
貸出金(末残)	37,752	40,073	41,894	1,821	4.5%
個人貸出	14,194	15,449	16,737	1,288	8.3%
法人貸出	18,570	19,573	19,831	257	1.3%
公金+金融	4,987	5,049	5,324	274	5.4%
(中小企業等貸出)					
中小企業等貸出	26,466	28,515	30,368	1,853	6.4%
(個人ローン)					
個人ローン	13,318	14,580	15,858	1,278	8.7%
うち住宅ローン	12,985	14,251	15,469	1,218	8.5%

【貸出金残高の推移】



【中小企業等貸出・住宅ローンの推移】



2. 預金・個人預り資産

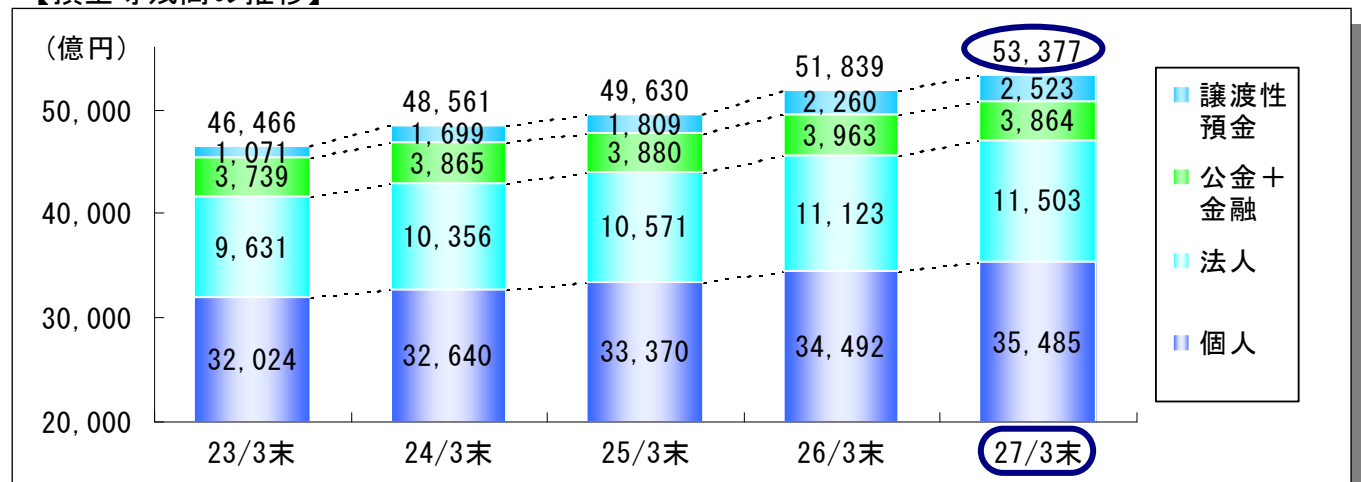
- 預金等残高(預金+譲渡性預金)は、H26/3末比+1,538億円の5兆3,377億円(年増率2.9%)となりました。個人預金が同比+992億円(年増率2.8%)、法人預金が同比+380億円(年増率3.4%)と、それぞれ堅調に増加いたしました。
- 個人預り資産は、債券が減少する一方、投信と保険が増加し、7,040億円(同比+57億円)となりました。なお、個人預金とあわせた個人金融資産残高は、4兆2,526億円(同比+1,050億円)に増加いたしました。

(単位：億円)

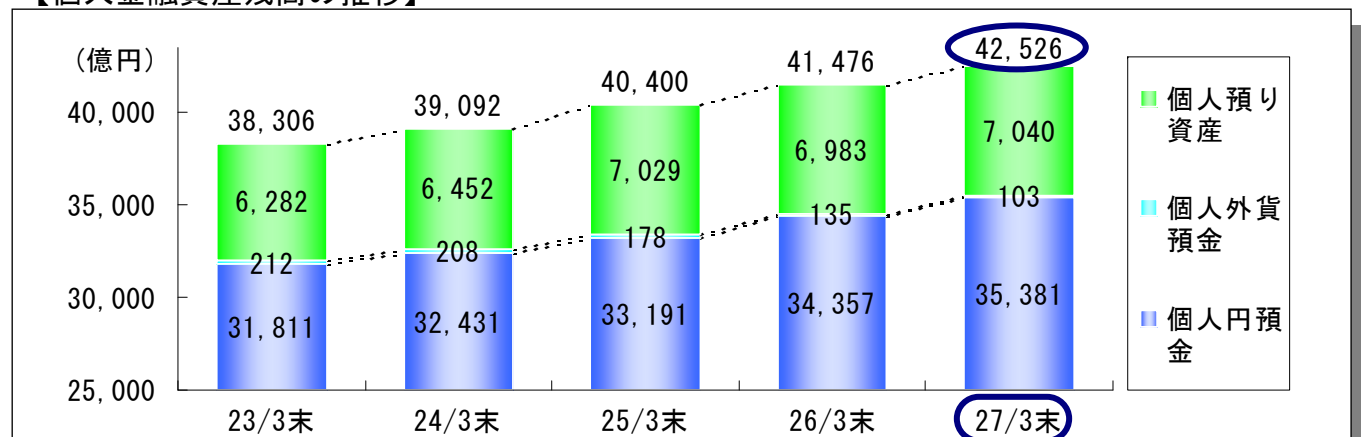
	25/3末	26/3末	27/3末	26/3末比	(年増率)
預金等残高(末残)	49,630	51,839	53,377	1,538	2.9%
預金(末残)	47,821	49,578	50,853	1,274	2.5%
個人預金	33,370	34,492	35,485	992	2.8%
法人預金	10,571	11,123	11,503	380	3.4%
公金+金融	3,880	3,963	3,864	▲98	-2.4%
譲渡性預金(末残)	1,809	2,260	2,523	263	11.6%
(個人預り資産)					
個人預り資産	7,029	6,983	7,040	57	0.8%
投資信託	2,698	2,820	3,260	439	15.5%
債券(約定ベース)	1,741	1,434	922	▲512	-35.7%
保険※	2,589	2,728	2,858	129	4.7%

※保険=個人年金保険+終身保険+学資保険

【預金等残高の推移】



【個人金融資産残高の推移】



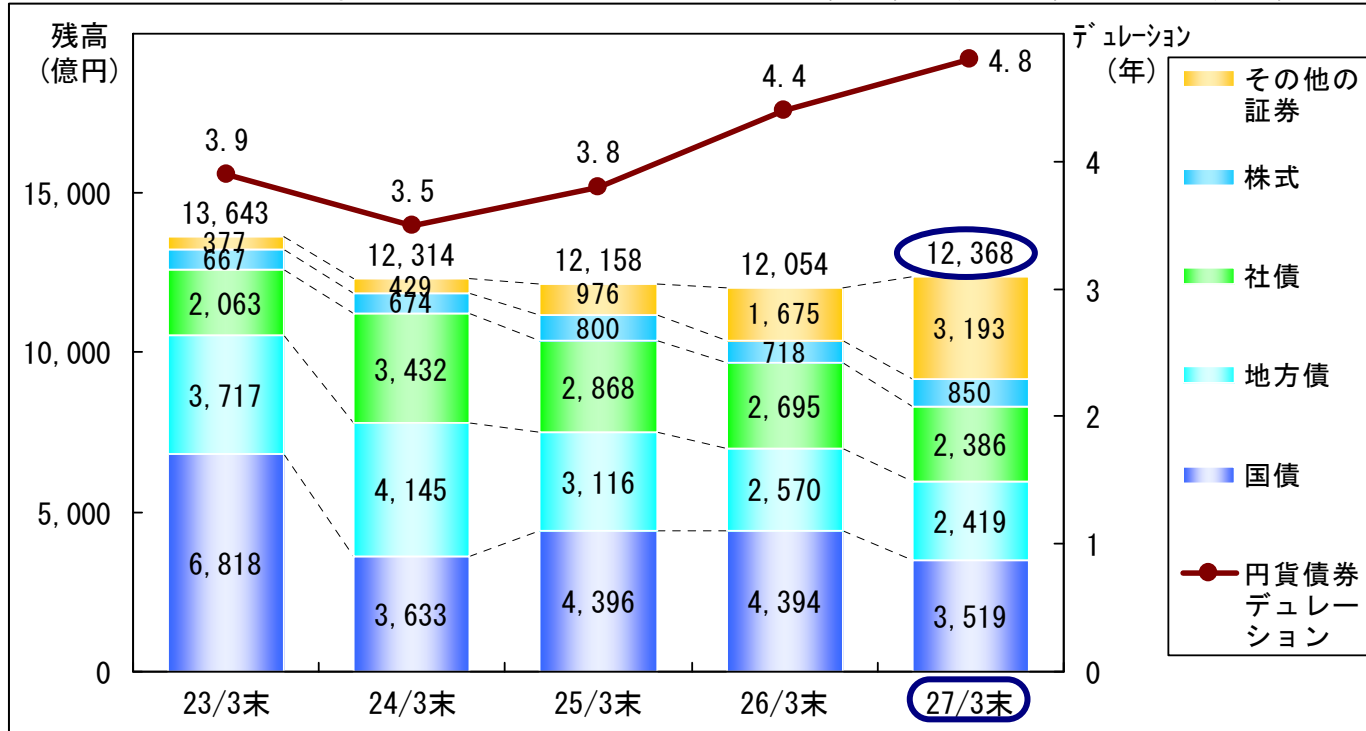
平成27年3月期決算の概要③【有価証券・不良債権・自己資本比率】

1. 有価証券の状況

(1) 有価証券残高・円貨債券デュレーション（銀行単体）

- ・有価証券残高は、1兆2,368億円(H26/3末比+314億円)となりました。
- ・債券は、国債が3,519億円(同比▲874億円)、地方債が2,419億円(同比▲150億円)、社債が2,386億円(同比▲309億円)となりました。円貨債券のデュレーションは4.8年となりました。
- ・株式は、株価上昇を受け、850億円(同比+131億円)となりました。
- ・その他の証券は、外国債券や投資信託の積み増しを行ったこと等により、3,193億円(同比+1,517億円)となりました。

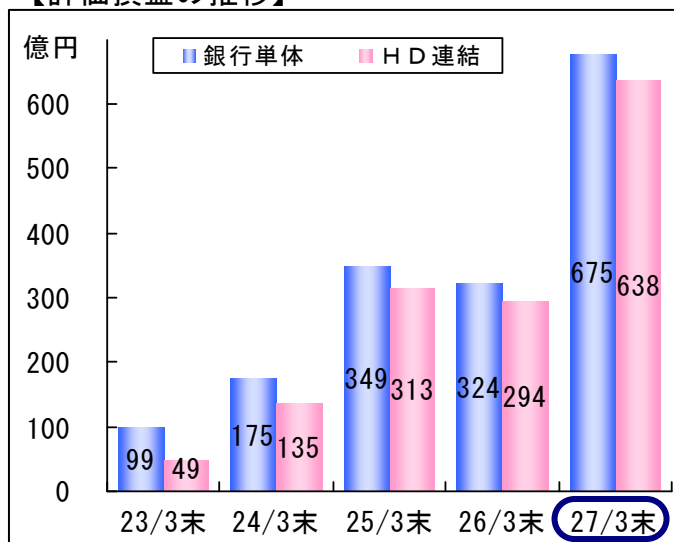
【有価証券残高と円貨債券デュレーションの推移】 ※円貨債券＝国内債券＋円建外国証券



(2) 「その他有価証券」の評価損益

- ・金利低下による債券評価益の増加や、株価上昇による株式評価益の増加等により、銀行単体が675億円のプラス(H26/3末比+350億円)、HD連結が638億円のプラス(同比+344億円)となりました。

【評価損益の推移】



【銀行単体ベース】 (単位：億円)

	26/3末	27/3末	26/3末比
評価損益	324	675	350
債券	65	151	85
株式	231	362	130
その他	27	161	134

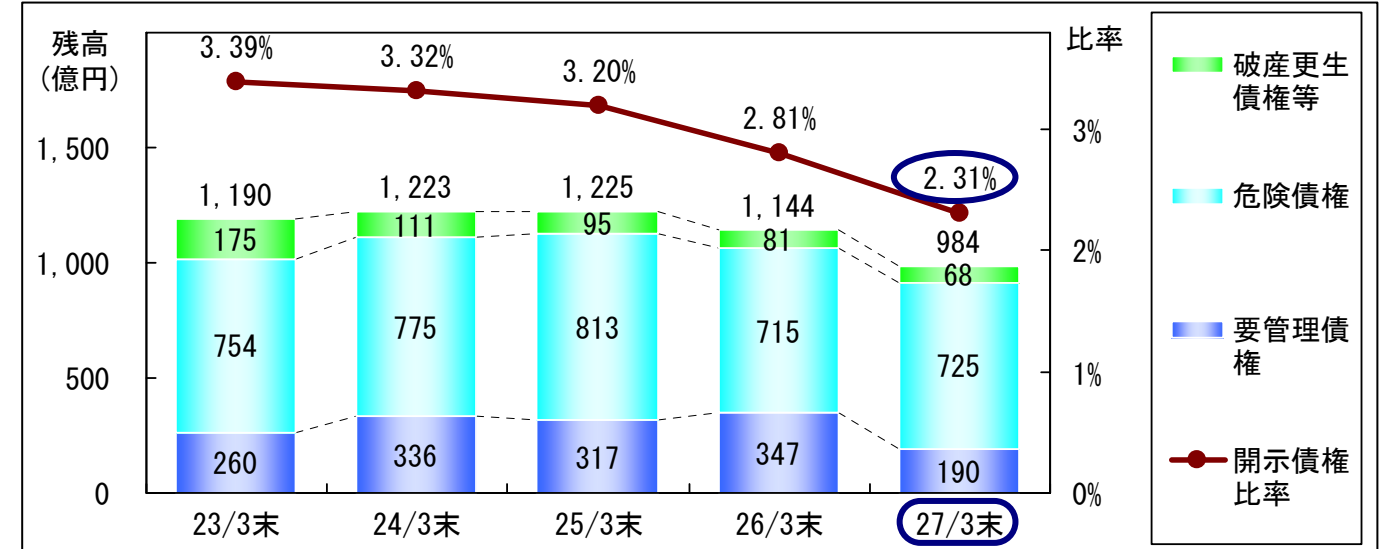
【HD連結ベース】 (単位：億円)

	26/3末	27/3末	26/3末比
評価損益	294	638	344
債券	65	151	85
株式	195	326	131
その他	34	161	127

2. 不良債権の状況（銀行単体）

- ・要管理債権の減少により、不良債権残高は984億円(H26/3末比▲160億円)に減少いたしました。また、正常債権が増加したこともあり、不良債権比率は2.31%(同比▲0.50%)に低下しました。

【金融再生法開示債権の推移】



3. 自己資本比率

- ・着実に利益を積み上げておりますが、貸出金の増加等によるリスクアセットの増加もあり、HD連結は8.54%(H26/3末比+0.05%)、銀行単体は8.58%(同比▲0.10%)となりました。

【27/3末の自己資本比率(新基準)】

項目	HD連結			銀行単体		
	26/3末	27/3末	26/3末比	26/3末	27/3末	26/3末比
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	3,231	3,338	107	2,429	2,532	103
コア資本に係る調整項目の額 (B)	883	851	▲32	—	19	19
自己資本の額 (A)-(B)	2,347	2,487	139	2,429	2,513	83
リスク・アセット等の額の合計額	27,622	29,098	1,475	27,965	29,277	1,311
自己資本比率(新基準)	8.49%	8.54%	0.05%	8.68%	8.58%	-0.10%

【自己資本額・自己資本比率の推移】

